

バク通信

一三二一 号

令和二年四月十日発行
社会福祉法人「ゼノ」少年牧場
ゆめサポート・バク
福山市神辺町東中条301-6
TEL(084)960-2256
FAX(084)960-2258

『新年度のご挨拶』

管理者 田頭 聖司

うらかな春の陽気が続きますが、皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。二〇二〇年度がいよいよスタートし、抱負をお伝えしたいところではありますが、やはり新型コロナウイルスの影響はすさまじく、私事ではありますが当たり前の毎日をつなぎ留めることに奔走している今日この頃です。

さて、世紀の大イベント東京オリンピックも延期が決まり、外出することがはばかられ満開の桜の下での花見も叶わず、この度の感染症の猛威の前に私たちはただただ、恐れることしかできない状況にあります。

この出来事を通し、私は「当たり前の日常のありがたさ」を改めて噛みしめています。「当たり前」と言葉にするのは簡単ですが、この「当たり前」をつなぎとめるために目に見えない多くの人々の支えの上に私たちの「当たり前」があることに気づかされます。

当たり前が、当たり前でなくなると夢や希望にも目が向きにくくなります。そのような状況に落ちいらないために、一人一人が置かれている状況を正しく認識し、他者を気遣い正しい行動をとることではないかと考えます。

新年度を迎えてもなお、暗い話題ばかりが耳に届きますが、こんな時だからこそ法人の理念「明日を信じ限りなき前進をしよう」を胸に職員一丸で事に当たっていきたいと考えています。皆様におかれましても諸事ご多忙のことと存じますが、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

『二〇二〇年度辞令交付式』

サービス管理責任者 松岡 肖幸

桜の花が咲き誇るとともに新たな年度を迎えた四月一日、当事業所では新たに二名の仲間を迎えることとなりました。

通所後に辞令交付式を執り行い、所属する部署への辞令を管理者から、新たな利用者の方に交付いたしました。新規利用者二名と管理者・各部署責任者が出席し、利用者代表としてSさんが挨拶をされていきました。その言葉から緊張と同時に力強さもしつかりと伝わってきました。その姿に職員も身が引き締まる思いで新たな年度を迎えることができました。



『三月 春の活動(プラ版作り ひな祭り)』

生活支援員 若井 将史

療育班では、三月にひな人形の見学を予定していましたが、近年の情勢の為に外出を控えておりました。その中でも、少しでも楽しい活動を提供するために創作活動の時間を使用してプラ版「キーホルダー」作りを行いました。

絵を描くのが苦手な方もいたので、まずはイラストを何種類か準備して好きな絵を選びました。それをスタッフと一緒に絵を描いたり、色付けを行いました。皆さんそれぞれ上手に描く事が出来ていました。

その後は、トースターを準備し、安全な場所で見学をしました。チンとなると、あっという間にキーホルダーが完成しました(記念に持って帰って貰いました)。

普段とは違う活動をする事は良い刺激になりますし、楽しみにも繋がります。今後も、日々楽しく過ごせる様にしていき元気で楽しく過ごしてまいりたいと思います。



上手に描けたよ。

まだかな？



『春の訪れ』

生活支援員 月又 光子

着込んでいた作業服が薄着になり、気づけば日差しが強く、汗ばむ陽気になってきました。畑の周囲にはユキヤナギ、水仙が咲き、ウグイスのさえずりをBGMにジヤガイモを植え、人参の種まき、水やりが始まっています。土の色一色でしかなかった畑にも小さな草花が目立つてきました。まだ可愛らしく指で摘まめばスツと抜けてしまうほどですが、これからが人参の成長との戦いでもあります！とついつい草を敵として見てしまいがちですが、実は多様な環境を作る構成員であり、微生物を活発に活動させたり、水の通りをよくしたりして、その営みをいかに邪魔せずに活かせるか、という視点で見ると土地を豊かにする味方である！と物の本には書いてあります。しかし、まだまだ活かせるどころか、一方的に絶大な自然の力を見せつけられていて、ひれ伏している状態です。敵と対峙するか、味方にするかどちらにしても、これからは草との付き合いが大変な季節に突入します！



『アルコジャーノの新天地』

生活支援員 行廣 七海

暖かい日が続き、春の訪れを感じる今日この頃。アルコジャーノでは新天地でジェラート販売を行っていました。

昨年、S・Iサミット二〇一九で念願の最優秀賞をいただいたみついてもジェラートをなんと東京の銀座にあるアンテナショップ「TAU」にて取り扱ってもらうことになりました。アンテナショップということもあり、広島県のいろいろな美味しいものが集まっています。アルコジャーノの周りにも日本茶のアイスクリームやチーズケーキなど、どれも美味しそうなものばかり！しかし、アルコジャーノのみついてもジェラートも負けていません！訪れたお客様から「美味しかったです！」とお褒めのお言葉をいただくことがあったそうです。実際に、私たちが現地に行くことは叶いませんでしたが、大変好評だったと伺っております。

利用者の皆さんは、東京の銀座に私たちが作るジェラートが出品されることを大変喜んでくれていました。その反面、緊張している利用者もおられ、自分たちのジェラートに誇りや責任感を持っている事を垣間見ることが出来ました。

これからもみついてもジェラートに負けない、素材を生かしたジェラートづくりを行っていききたいと思えます。

アンテナショップ「TAU」の様子



『ウエス新体制スタート』

生活支援員 松浦 聡

平素よりウエス作業の活動に対し、たくさんの方のウエス原料をご提供いただき、深く感謝申し上げます。

昨年度は、皆様のおかげで売り上げ目標を上回り、無事達成することが出来ました。これもひとえに、皆さまのご協力とウエス班利用者さんの頑張りがあったおかげであると感謝しております。

新年度が始まり、新たに利用者さん二名と職員二名が加わりましたので、ご紹介させていただきます。

まず、利用者さんから紹介します。ファーム班から異動してきてくださいました、河相晋さんです。過去にウエス班に所属していたこともあり、作業内容が多少変わっているところはありますが、スムーズに取り組みしております。今後の戦力として大いに期待しています。もう一名は三月二十六日から利用されている佐藤涼太さんです。分らないことだらけで、少し緊張されている様子も伺えますが、作業も徐々に慣れてきており、今後も色々なことを経験して頂きたいと思っています。

職員は、療育活動班から異動してきました佐藤健一さんと、仕出し班から異動してきました井上由美子さんです。

新しく加わった利用者さんだけでなく、全ての利用者さんの日々の様子を気にかけてながら、『全員が楽しみながら作業できる』ように支援していききたいと思っております。



『免疫力を高めるために』

副主任 木村英信

新型コロナウイルスの脅威はまだまだかつてない経験です。過去にはSARS・MERS・HIV・エボラや他の感染症などの流行がありました。それらは主に特定の地域や集団において限定的に発生していました。しかし新型コロナウイルスは数ヶ月の間に世界中に広がり社会的・政治的・経済的に大きな影響を及ぼしています。

予防対策としてマスク・手指消毒・手洗い・うがいに加え、睡眠・運動・食事で免疫力を高めることが重要です。免疫細胞の約7割は腸内にあると言われています。腸内環境を整える効果のある発酵食品や食物繊維を意識して摂られては如何でしょうか。

一例ですが参考にさせていただければと思います。

【発酵食品】味噌・酒粕・納豆・キムチ・ヨーグルト・甘酒・チーズ・食酢など

【食物繊維】きのこ類・人参・ブロッコリー・ごぼう・レンコンなど

十人十色のお弁当にも発酵食品・食物繊維が含まれている献立があります。免疫力を高める為に食生活の一助になれば幸いです。



十人十色、全員集合！

2020年度はこのメンバーで頑張ります。



『新メンバーの紹介』

はじめまして。四月よりゆめサポート・バクへ異動してきた大村和弘と言います。今まで「ゼノ」やまびこ学園で十五年、児童・成人の利用者さんと関わらせていただきました。

作業所で働くのは初めてなので、早く仕事を覚えて戦力になれるよう頑張ってください。よろしくお願いたします。



4月の予定

- 4月9日(木) 療育行事(懇親会)
- 4月11日(土) 土曜開所
- 4月18日(土) 土曜開所
- 4月25日(土) 土曜開所
- 5月9日(土) 土曜開所

